事業終了報告

（初動調査・緊急初動調査用）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **1.プログラム名** | | ●この欄は**通常の初動調査**の場合のみ記載 | | | | | | | | |
| **2.事業名**  **(日・英)** | ●日本語、および英語表記を併記する。 | | | | | | | | | |
| **3.事業期間** | 開始日 | | 年 月 日 | | 終了日 | 年 月 日 | | | 日数 | 日間 |
| **4. 団体名** | ●合同調査団の場合は契約団体名 | | | | | **5. 担当者名** | ●合同調査団の場合は契約団体の担当者名 | | | |
| 1. **JPF助成金収支概要** | | 政府支援金  ●以下の欄は**通常の初動調査**の場合のみ記載 | | 民間資金  ●以下の欄は**通常の初動調査**の場合のみ記載 | | | | 総額 | | |
| 予算額 | |  | |  | | | |  | | |
| 執行額 | |  | |  | | | |  | | |
| 返還金額 | |  | |  | | | |  | | |

1. **事業目的***（事業全体として目指した成果。事業計画書に基づく）*
2. **事業の成果***（事業地名も明記のこと）*

●事業目的を達成する調査をすることができたか。

●どこで何をどう調査し、その結果どうであったかを記載。

●調査後、後続で支援事業を実施した場合は、調査結果との関連を触れておくと良い。

調査行程　●別紙での調査スケジュール提出をもって代替することができる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日付** | **訪問先**  ●地名も記載する | **調査内容** |
| ○/○ |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |
| / |  |  |

1. **事業計画変更の記録***（変更申請の対象となるもの）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 承認日 | 変更区分 | 変更内容の概要 |
|  |  |  |
|  |  |  |

●10、11については、変更申請の後に調査事業の中で物資配布など支援活動を行った場合に記載。

　（支援実施の変更を申請せず、調査のみの場合は各項目「調査のみのため該当なし」で良い）

1. **成果の達成度とそこから得た学び**
2. 配布物、設置物等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、変更申請書に基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. 成果の達成度（以下の3つから選択）
   * 1. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった
2. 達成度を判断した理由とそこから得た学び
3. **事業の自己評価とその根拠** 
   1. 事業計画・実施の妥当性・適切性（Relevance/Appropriateness）

*・地域のどのようなニーズと優先順位を把握し、どのようにそれに対応できたか。*

*・地域の主体性をどの程度重視し、それに応じて信頼性を満たした事業実施ができていたか。*

*・カウンターパートの選択や協力の仕方は適切であったかどうか。*

* 1. 事業の連結性または持続可能性（Connectedness or Sustainability）

*・中長期の活動への連結性がどのように確保されたか、中長期に想定される課題をどのように念頭に置いて活動したか。*

* 1. 事業実施における効率性（Efficiency）

*・インプット（資金、技術、知識、時間等）に対していかに適切なアウトプット（事業の効果や裨益者の便益）が得られたか。*

*・他のアプローチと比較した場合、最も効果的なプロセスが採用されていたかどうか。*

*・事業地の人材、技術等のリソースを十分に活用できたかどうか。*

* 1. 事業実施における有効性（Effectiveness/Timeliness）

*・事業目標はどの程度達成されたか（事業全体について）。目標達成を促進した要素、障害となった要素は何であったのか。*

*・タイミングのよい事業であったどうか。*

*・十分に迅速な支援が実施できたか。今後さらに改善の余地はあるとしたらどのようなことか。*

* 1. 事業実施に際しての調整（Coordination）

*・国や行政の政策や、他の支援団体とどのように連携・調整をした上で事業を実施したか。*

*・国連のクラスター会合、受入れ国政府等とどのように連携・調整を行なって事業を実施したか。*

* 1. 事業実施によるインパクト（Impact）

*・事業を実施したことにより、個々の裨益者に対して、社会・経済・技術・環境、平和構築等、どのような広義の効果があったか。意図した効果と、意図しなかった効果、肯定的な効果と否定的な効果について、該当することをそれぞれ記載する。*

*・短期の災害支援等で該当しない場合は記述の必要は無い。*

* 1. スフィア・スタンダードへの適合性（Observance of Sphere Standard ）

*・人道憲章に記された基本的な人道原則について、特にどのような点に配慮して事業を行なったか。*

*・支援セクター毎に定められた最低基準を順守することができたか。できなかった場合はどのような問題があったか。*

*・裨益者が意見を述べる権利、弱者・少数者への配慮等、裨益者の権利保護（プロテクション）について、十分な配慮を行なったか。*

1. **事業管理体制***（上手くいった点、いかなかった点を、理由を含め記載）*

（１）人員配置

（２）資金管理

（３）安全管理体制

1. **広報実績***（JPF事業に関する広報実績を中心に記載）*
2. **その他の報告事項**